

■■ おしっこトラブル解決します！！ ■■

泌尿器科 山田 真海

中高年に多いおしっこの悩み

「最近尿の勢いがなくて…」 「くしゃみをすると尿漏れが…」 「さっきトイレに行ったのにまたすぐに行きたくなる」等々、おしっこの悩みはよく耳にします。年齢のせいだと諦めていませんか。適切な検査、治療をすればそれらの症状はよくなる可能性があります。

◇男性の場合：前立腺肥大症

前立腺は、尿道を取り巻くように膀胱の出口に存在する男性固有の臓器で、年齢とともに徐々に大きくなっていきます。前立腺が肥大することにより尿道が圧迫されて、排尿障害をきたします。尿を出しやすくしたり、前立腺を小さくする薬で症状は改善します。また薬ではなかなか症状が良くならない場合は手術を行う場合もあります。



【50歳を越えたらPSA測定を】

近年増加してきている前立腺がん。2020年には男性のがん罹患数第2位になると予想されています。PSAという腫瘍マーカーを採血で測ることで前立腺がんの可能性があるか簡単にわかることができます。当院では50歳以上の方を対象にPSA測定をお勧めしております。希望される方は担当に相談ください。

◇女性の場合：過活動膀胱

過活動膀胱とは、少量の尿で膀胱が過剰に収縮してしまい、我慢出来ないような強い尿意切迫感が急激に起ります。そのため、トイレが近くなったり（頻尿）、強い尿意によりトイレにたどりつくまでに我慢が出来ずに尿が漏れる（切迫性尿失禁）などの症状を伴います。尿を我慢しやすくする薬や漢方、骨盤底筋体操などが有効です。

過活動膀胱とは

正常な膀胱	過活動膀胱	
脳からの排尿命令で膀胱が収縮し、内尿道括約筋がゆるんで排尿される。	少量の尿でも強い尿意に襲われ、膀胱が収縮して排尿してしまう。	
過活動膀胱の3つの特徴		
尿意切迫感 トイレに 急に行きたくなる	頻尿 トイレに 何度も行きたくなる	切迫性尿失禁 トイレに 間に合わない

“まずは気軽に受診を”

なかなか相談できずに一人で悩んでいる方がたくさんいます。是非一度泌尿器科受診を！！